

# 自己紹介

## お気に入り自己紹介

時間：20分

### ねらい

お気に入りのものを伝え合うことで、和やかな雰囲気をつくります。また、互いの共通点を知ること、「ちがい」を受け入れやすくなることに気付きます。

### 【準備物】

ワークシート①

### 実施の際のポイント

「ちがい」を受け入れることは大切だと言われていますが、実際には難しいことです。

むしろ、共通点を見つけ、お互いが同じような体験や感情を共有していたということに気付くことが、「ちがい」を受け入れるための素地になるでしょう。

このことは、「個人の尊重」につながることに気付くよう促しましょう。

- 1 4人程度のグループに分かれ、個別にワークシート①を受け取ります。
- 2 中央に自分の名前を書きます。
- 3 記入例を見ながら「お気に入り自己紹介」のワークシート①を5分程度で記入します。
- 4 一人ずつ自己紹介をし、各項目で一番気に入っているものについて紹介します。
- 5 全員の紹介が終わったら、お互いの用紙を見ながら、気付いたことや気になったことなどを自由に話し合います。



## ジェンダーチェック

時間：15分

### ねらい

わたしたちの日常生活の中にも社会的・文化的につくられた男女のちがい（ジェンダー）が存在することに気付きます。

### 【準備物】

ワークシート②

### 実施の際のポイント

「男女共同参画社会」や「女性の人権」を中心の活動のテーマとするときに、導入として活用できます。

- 1 ワークシート②の設問に回答します。
- 2 「はい」の数を合計し、記入します。
- 3 「評価の仕方」を使って、「はい」の数に応じた評価項目を読み、自分の傾向をチェックします。
- 4 自己紹介をしてから、チェックシートをやってみた感想を発表します。

学習者一人一人がジェンダーに対する感覚をチェックすることにより、自分の傾向をつかむことができます。

## うそを見破れ！

時間：15分

### ねらい

グループ内で順番に自己紹介を行い、4つのうち1つの「うそ」を見破る楽しい活動をとおして、温かな場の雰囲気をつくり、他者理解を深めます。

- 1 4人程度のグループをつくり、配られた自己紹介カードに名前を書きます。
- 2 「私は・・・。」で始まる4つの自己紹介文のうち、1つは「うそ」の内容を書きます。
- 3 4つの文を見せながら一人ずつ自己紹介をします。聞いている人は4つのうち何番が「うそ」かを予想します。
- 4 聞いている人が、何番が「うそ」と予想したかを聞いた後、正解を発表します。
- 5 全員の自己紹介が終わったら、「うそ」をつかいない自己紹介の時の聞き方と今回では、聞き方にどのような違いがあったかふりかえります。

### 【準備物】

自己紹介カード

名前 栃木 太郎

- 1 私は、\_\_\_\_\_です。
- 2 私は、\_\_\_\_\_です。
- 3 私は、\_\_\_\_\_です。
- 4 私は、\_\_\_\_\_です。

### 実施の際のポイント

ゲーム形式の自己紹介カードを使うことにより、相手に対する関心を高めることができます。

「うそ」がどれかを予想することで、その人の外見や雰囲気から受けるイメージどおりではないことが多いことに気付くことができます。

人を見た目や雰囲気だけで判断することは、人権侵害にあたる可能性があることにも触れましょう。

## 人権CMを見てみよう

時間：10分

### ねらい

自己紹介をしながら映像を視聴した感想を共有することで、人権について考える雰囲気をつくります。

- 1 高校生人権映像作品コンクールや、人権啓発CMコンテストの作品映像を視聴します。
- 2 自己紹介をした後、視聴した映像についての感想を発表します。

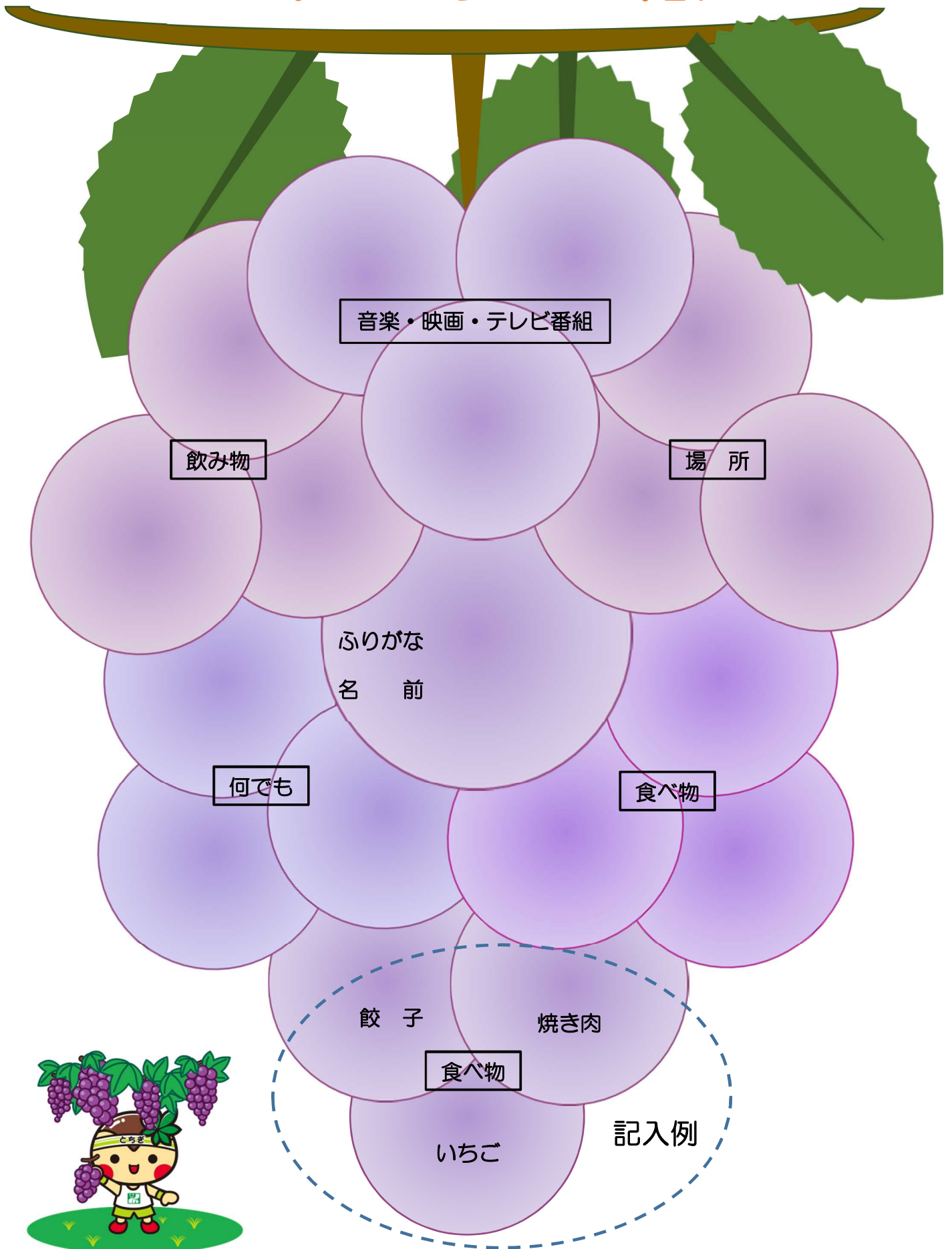
### 【準備物】

人権映像作品のDVD  
人権啓発CMの映像→  
栃木県のHPより視聴可能  
「栃木県人権啓発CM」で検索

### 実施の際のポイント

「インターネットによる人権侵害」「障害者」をテーマにした作品があります。何種類か見ることも、中心の活動で扱うテーマに合わせて、映像を選んで見ることもできます。

# お気に入りの自己紹介



# ジェンダーチェックシート

「はい」か「いいえ」に○を付けてください。

①	妻が外出すると、夫の機嫌が悪いのは仕方がない。	はい	いいえ
②	「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない。	はい	いいえ
③	父親が子どもの友達の名前がわからないのは仕方がない。	はい	いいえ
④	子どもの教育や家庭内の重要なことは、父親の意見が優先されるべきである。	はい	いいえ
⑤	女の子には優しくかわいらしく、男の子には強くたくましく育てほしい。	はい	いいえ
⑥	家事の手伝いをつい娘にさせてしまう。又は、息子が家事の手伝いをしなくても気にならない。	はい	いいえ
⑦	子どもの担任との連絡は、母親の役割であると思う。	はい	いいえ
⑧	妻が仕事をするのはいいが、家事の手抜きをするのは好ましくない。	はい	いいえ
⑨	一緒に住んでいる長女がいても、喪主を務めるのは離れて暮らしている長男の役割である。	はい	いいえ
⑩	お祭りでは、女性が裏方で食事やお酒の準備や片付けなどをしている。	はい	いいえ
⑪	男性よりも女性の言葉づかいの悪さが気になる。	はい	いいえ
⑫	女性が地域活動で中心的な存在で頑張っていると、女なのに目立ちすぎると思う。	はい	いいえ
⑬	男性はまでも、女性がたばこを吸うのは許せない。	はい	いいえ
⑭	日ごろの親戚付き合いや近所付き合いは、妻任せである。	はい	いいえ
⑮	会合で、お茶や食べ物を出したり後片付けをしたりするのは、女性の役目である。	はい	いいえ
⑯	町内会や自治会は、実際に参加するのが女性でも、代表は男性が良い。	はい	いいえ

「はい」の数の合計 ⇒

個

## <評価の仕方>

### 「はい」の数が14～16個のあなた

女の役割、男の役割にこだわっていませんか？性別役割の固定された家庭で、本当に一人一人が「自分らしい」生き方をしていますか？地域においても、男女が同じように参加できる方が、きっと暮らしやすいですね。ほんの少し、生活を見直してみましよう。

### 「はい」の数が4～13個のあなた

男女の役割分担について、まだ少しこだわりがあるようですね。また、男女平等なんて常識と思いつつ、周囲の目を気にしすぎて、意識と行動の矛盾に悩んでいるのかも知れません。性別に対するこだわりを思い切って取り除き、一番身近なところから意識と行動を見直していきましょう。

### 「はい」の数が0～3個のあなた

ジェンダーについてかなり高い意識を持っています。家庭においては、家族全員が協力し尊重し合いながら、男女平等な関係を築いていることでしょう。あなたのような方が地域に参加し、あなたの考えを行動で示し、周りの人々を巻き込んでいくことで、きっと、地域の人々のジェンダーに対する感覚も変わっていくはずですよ。